

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名		男女共同参画の日啓発事業		部課コード	1019	予算事業科目	010201120205	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	市民生活部		部局長名(2次評価者)	近藤 昭仁		個別事務	一部	010201120205	-	101
	担当部署	男女共同参画課		所属長名(1次評価者)	澤田 和彦			-	-	-	-
	電話番号	088-823-9913		E-mail	kc-101900@city.kochi.lg.jp			-	-	-	-

1 事業の位置付け

予算科目(平成20年度)		高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	目標	02 Bいきいきと輝き安心して暮らせる都市							政策基本方針	男女共同参画社会の実現に向けて、意識啓発や社会環境の整備を進めるとともに、高知市男女共同参画推進プランに基づき、市民、NPO、その他各種団体と一体的に行動できる体制づくりを進めます。	
款	02 総務費	政策	10 男女共同参画社会づくり									
項	01 総務管理費	施策	01 社会活動への参画推進									
目	12 市民活動費	区分	01 男女共同参画推進									

2 事業の根拠

法律・政令・省令	男女共同参画社会基本法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	男女がともに輝く高知市男女共同参画条例	
その他(計画、覚書等)	高知市男女共同参画推進プラン2006	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	すべての高知市民		
意図	どのような状態にしていけるのか	本市の男女共同参画条例及び条例で定める8月1日の男女共同参画の日を周知すると共に、男女共同参画の理解と啓発を図り、男女共同参画社会の実現を目指す。		
手段	事業実施体制等	紙芝居のストーリーを考案し、イラスト作成及び朗読をそれぞれ委託する。紙芝居の内容と合わせたテーマで市内小学校の2年生から4年生までを対象に図画コンクールを行う。	事業開始年度	平成17年度
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画の日に合わせて紙芝居鑑賞会及び図画コンクール表彰式を啓発行事として実施する。 ●男女共同参画の日パネル展として、条例の解説パネル、啓発行事のポスター及び図画コンクールの入賞作品を本庁舎玄関前ビロティに展示する。 ●男女共同参画の日を宣伝する横断幕を新架橋プラザに取り付け、その周辺において啓発行事開催の前日にのぼり旗を掲げながら行事案内のポケットティッシュを配布し、参加を呼びかける。 		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	行事への参加者数	行事開催会場への来場者数	
	B	図画コンクールへの応募者数	行事内で表彰を行う図画コンクールへの応募者数	
	C			

4 事業の実績等

			18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	行事への参加者数	目標 500	500	100	100	20年度から行事内容及び開催場所を変更した。	
		実績 400	300	100	500			
	B	図画コンクールへの応募者数	目標 -	-	500	500		
		実績 -	-	1316	-			
C		目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	916	830	327	250	21年度は当初予算額	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	916	830	327		
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	2,700	2,700	4,500			
		正規職員 (千円)	2,700	2,700	4,500			
			その他 (千円)					
			人役数 (人)	0.36	0.36	0.60		
		正規職員 (人)	0.36	0.36	0.60			
			その他 (人)					
	総コスト= ① + ② (千円)		3,616	3,530	4,827			
市民1人当たりコスト (円)		11	10	14		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		327,310	341,544	340,695				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- 行事開催後、朗読の音声付きの紙芝居をデータ化し、そのCD-Rを高知県下の34市町村男女共同参画担当課、高知市内の43小学校及び9図書館へ配布したところ、男女共同参画に関する学習会やレクリエーションの場で利用された。
- 紙芝居のイラスト作成をこうち男女共同参画センター主催のイラストコンテスト大賞受賞者に業務委託し、また、紙芝居の朗読をこうち男女共同参画センターで活動するボランティアグループに依頼するなど、市民との協働により事業を実施することができた。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 7 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	本事業は広く市民に男女共同参画について理解を深めてもらい、男女共同参画社会を構築していくことを目指すものであり、本市総合計画に掲げる「男女共同参画社会の実現」の趣旨に合致する。 近年の世界的な経済状況の悪化に伴う社会情勢や個人の生活諸条件の変化により市民のニーズの多さは社会保障等の施策と比べるとあまり表面化していないものの、人権の尊重や社会環境の整備のために継続して取り組んでいく必要があると考える。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	行事への参加者数をより増やすことができるよう広報の手法について検討する余地があるが、図画コンクールへの応募者数を含め成果指標の目標は概ね達成できていると考える。 事業の手法・活動内容については、今後は行事の主な対象となる年齢層を限定せず幅広い層に向けた事業を展開していく必要があるものの、概ね妥当であると考える。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	3.0	市民、NPO、その他各種団体との連携については具体的に取り組みを進めているところだが、本市の条例に基づき実施する事業であり、条例そのものの周知も目的としていることから、市の方針や考え方を直接反映することができるようあくまで行政が主体となることが望ましいと考える。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	行事の開催は市の広報紙、ホームページ、ポスター、チラシ等により広く周知するよう努めており、公平性は保たれている。 幅広く多くの市民に男女共同参画について考えてもらうきっかけ作りとすることを目的とする事業であることから、受益者負担の視点には馴染まない。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	15.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) ○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 11 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	1次評価のとおり。
○ B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--